

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年11月9日

【四半期会計期間】 第56期第3四半期(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

【会社名】 トラスコ中山株式会社

【英訳名】 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中山 哲也

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋四丁目28番1号

【電話番号】 03-3433-9830(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 経営管理本部長 中井 孝

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋四丁目28番1号

【電話番号】 03-3433-9835

【事務連絡者氏名】 経理部長 今川 裕章

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
トラスコ中山株式会社大阪本社
(大阪市西区新町一丁目34番15号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第3四半期 累計期間	第56期 第3四半期 累計期間	第55期
会計期間	自 2017年1月1日 至 2017年9月30日	自 2018年1月1日 至 2018年9月30日	自 2017年1月1日 至 2017年12月31日
売上高 (百万円)	143,065	156,784	195,096
経常利益 (百万円)	10,879	9,959	14,581
四半期(当期)純利益 (百万円)	7,378	6,725	10,173
持分法を適用した 場合の投資利益 (百万円)	-	-	-
資本金 (百万円)	5,022	5,022	5,022
発行済株式総数 (株)	66,008,744	66,008,744	66,008,744
純資産額 (百万円)	110,786	117,812	113,680
総資産額 (百万円)	143,164	168,111	147,363
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	111.89	101.99	154.28
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	19.5	18.5	39.0
自己資本比率 (%)	77.4	70.1	77.1

回次	第55期 第3四半期 会計期間	第56期 第3四半期 会計期間
会計期間	自 2017年7月1日 至 2017年9月30日	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	35.16	29.53

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していないため、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益について、利益基準及び利益剰余金基準から見て重要性がないため、記載を省略しています。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

なお、第1四半期会計期間において、セグメント利益又は損失の測定方法を変更しています。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資家の皆様の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当社は、設備投資を積極的に行い成長スピードを加速させることを目的として長期借入による資金調達を行うことを決定し、2018年7月6日付で次の契約を締結しました。

借入先	: 株式会社みずほ銀行 株式会社りそな銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行
借入金額及び条件	: 総額150億円、固定金利
借入実行日	: 2018年7月10日
返済期日	: 2026年7月10日一括返済
担保提供資産の有無	: 無担保、無保証

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間（2018年1月1日～2018年9月30日）における日本経済は、7月に西日本を中心に記録的な大雨となった「平成30年7月豪雨」、9月に関西を中心に被害をもたらした「台風21号」や「北海道胆振東部地震」などの災害に伴い、自動車や生産用機械の製造に一部影響はあったものの、猛暑による関連商品が好調であったことや円安効果に伴い電気機械や自動車関連の輸出が改善したことなどにより総じて横ばいで推移しました。

国内の製造業を中心としたモノづくり現場においては、前述した災害の影響や半導体製造装置、産業用ロボットなどの生産に一服感がみられるものの、人手不足に伴う省力化やIoT化などを背景に企業の設備投資は継続的に実施されていることから、企業収益は安定して推移しました。

このような環境下で当社は、モノづくり現場で必要とされる少量多品種・高頻度の商品ニーズに的確にお応えするために、積極的な設備投資を継続しました。

2023年までに物流センターを中心としたエリアごとの在庫アイテム数を50万アイテムまで拡充する目標に向けて、取扱いアイテムの拡大及び在庫拡充を戦略的に強化することで、お客様の利便性向上に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,567億84百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

売上総利益率が前年同四半期の21.3%から21.2%となり、売上総利益は332億75百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、売上の拡大に伴う出荷量の増加や送料の値上げの影響による運賃及び荷造費の増加、正社員及びパートタイマーの増員による給料及び賞与の増加、プラネット埼玉の新設に伴う減価償却費と消耗品費の増加などにより、その合計額は235億14百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

以上の結果により、営業利益は97億60百万円（前年同四半期比8.6%減）、経常利益は99億59百万円（前年同四半期比8.5%減）となり、四半期純利益は67億25百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりです。

第1四半期会計期間より、セグメントの業績をより適切に評価するために、一部の費用の配分方法を変更しています。それに伴い、前年実績の利益又は損失は変更後の測定方法により作成し、比較しています。

・ファクトリールート(製造業、建設関連業等向け卸売)

ファクトリールートにおいては、物流センターの在庫拡充を継続するとともに、全国に31か所ある在庫保有支店の在庫アイテム数を3万アイテムに拡充する目標に向けて、市場のニーズに即した在庫拡充を進めることで得意先の利便性向上に努めました。また、引き続き得意先向け物流センター見学会の実施やブランド力のあるメーカーの商品PRを中心に営業活動を強化しました。

その結果、売上高は1,240億80百万円(前年同四半期比7.1%増)となりましたが、費用の増加に伴い経常利益は79億41百万円(前年同四半期比10.4%減)となりました。

・eビジネスルート(ネット通販企業等向け販売)

eビジネスルートにおいては、約173万アイテムに及び商品データベースと得意先のシステムの連携を加速させ、得意先ごとの出荷梱包形態に合わせた独自の物流サービスを強化しました。また、一部のユーザーに対しては得意先を通じて受けた注文を直接納品することで納期の短縮につなげました。継続してユーザーへの訪問頻度を増やし、ユーザー向け物流センター見学会の実施や電子購買セミナーを開催することで、専門性の高い営業活動を行いました。

その結果、売上高は223億16百万円(前年同四半期比26.6%増)、経常利益は20億62百万円(前年同四半期比12.6%増)となりました。

・ホームセンタールート(ホームセンター、プロショップ等向け販売)

ホームセンタールートにおいては、建築現場などのユーザーをターゲットとしたプロショップを中心に、売場の改善提案やストア・ブランド商品の開発を強化することで、需要の喚起に努めました。また、得意先の新規出店に伴う需要の拡大に対しても、的確に対応することで売上高の増加につなげました。

その結果、売上高は96億87百万円(前年同四半期比9.1%増)となりましたが、費用の増加に伴い経常損失は1億46百万円(前年同四半期は24百万円の経常利益)となりました。

・その他

当社は、子会社のトラスコナカヤマ タイランド及びトラスコナカヤマ インドネシアへの販売を含む海外部の販売を「その他」に含めています。

売上高は7億円(前年同四半期比5.2%増)、経常損失は57百万円(前年同四半期は13百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

[資産]

資産合計は、前事業年度末に比べ207億48百万円増加の1,681億11百万円（前事業年度末比14.1%増）となりました。その主な要因は、現金及び預金47億51百万円の増加、商品52億48百万円の増加、プラネット埼玉の完成などによる建物134億59百万円の増加、プラネット埼玉の自動倉庫などマテハン設備の設置による機械及び装置21億93百万円の増加、ECサイトのリプレイスにかかるシステムの稼働などによるソフトウェア22億98百万円の増加、売掛金10億84百万円の減少、プラネット埼玉の完成などによる建設仮勘定98億30百万円の減少によるものです。

[負債]

負債合計は、前事業年度末に比べ166億16百万円増加の502億99百万円（前事業年度末比49.3%増）となりました。その主な要因は、未払金11億20百万円の増加、設備投資を加速させることを目的とした長期借入金150億円の増加、買掛金2億52百万円の減少、未払法人税等5億30百万円の減少によるものです。

[純資産]

純資産合計は、前事業年度末に比べ41億31百万円増加の1,178億12百万円（前事業年度末比3.6%増）となりました。その主な要因は、繰越利益剰余金が四半期純利益67億25百万円の計上により増加し、前事業年度の期末配当金12億85百万円及び当事業年度の間配当金12億19百万円の支払により減少したことによるものです。自己資本比率は前事業年度末の77.1%から70.1%となりました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2018年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2018年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	66,008,744	66,008,744	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株です。
計	66,008,744	66,008,744	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2018年7月1日～ 2018年9月30日		66,008		5,022		4,709

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日(2018年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

2018年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 63,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 65,852,900	658,529	-
単元未満株式	普通株式 92,344	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	66,008,744	-	-
総株主の議決権	-	658,529	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株(議決権40個)含まれています。

【自己株式等】

2018年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) トラスコ中山株式会社	東京都港区新橋四丁目28 番1号	63,500	-	63,500	0.10
計	-	63,500	-	63,500	0.10

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第63号）に基づいて作成しています。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（2018年7月1日から2018年9月30日まで）及び第3四半期累計期間（2018年1月1日から2018年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

3 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では子会社であるトラスコナカヤマ タイランド及びトラスコナカヤマ インドネシアの資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成していません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりです。

資産基準	2.2%
売上高基準	0.4%
利益基準	0.4%
利益剰余金基準	0.2%

上記割合の算定にあたっては、金額的重要性が乏しいため、会社間項目の消去前の数値によっています。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,412	15,164
売掛金	24,673	23,589
電子記録債権	1,340	1,686
商品	31,841	37,090
繰延税金資産	661	1,121
その他	855	2,453
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	69,785	81,106
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	23,440	36,900
機械及び装置（純額）	1,364	3,558
工具、器具及び備品（純額）	873	1,593
土地	28,412	28,412
建設仮勘定	12,912	3,082
その他（純額）	838	1,820
有形固定資産合計	67,842	75,367
無形固定資産		
ソフトウェア	2,352	4,651
その他	996	627
無形固定資産合計	3,349	5,278
投資その他の資産		
投資有価証券	1,559	1,434
関係会社株式	4,129	4,129
繰延税金資産	145	192
再評価に係る繰延税金資産	157	157
その他	401	452
貸倒引当金	7	7
投資その他の資産合計	6,385	6,359
固定資産合計	77,578	87,005
資産合計	147,363	168,111

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,596	14,343
未払金	3,495	4,616
未払費用	147	207
未払法人税等	2,233	1,703
賞与引当金	399	1,269
役員賞与引当金	-	93
その他	558	840
流動負債合計	21,430	23,075
固定負債		
長期借入金	10,000	25,000
役員退職慰労引当金	152	151
長期預り保証金	2,099	2,072
固定負債合計	12,252	27,223
負債合計	33,683	50,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,022	5,022
資本剰余金	4,710	4,711
利益剰余金	103,686	107,906
自己株式	71	72
株主資本合計	113,348	117,567
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	689	602
土地再評価差額金	357	357
評価・換算差額等合計	332	245
純資産合計	113,680	117,812
負債純資産合計	147,363	168,111

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第3四半期累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)
売上高	143,065	156,784
売上原価	112,566	123,508
売上総利益	30,498	33,275
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	3,422	4,086
役員報酬	183	186
給料及び賞与	7,605	8,249
賞与引当金繰入額	911	1,269
福利厚生費	1,461	1,676
通信費	227	256
減価償却費	2,022	2,493
借地借家料	345	484
その他	3,642	4,813
販売費及び一般管理費合計	19,823	23,514
営業利益	10,675	9,760
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	15	17
仕入割引	1,221	1,380
その他	310	269
営業外収益合計	1,548	1,669
営業外費用		
支払利息	5	29
売上割引	1,241	1,352
その他	97	90
営業外費用合計	1,343	1,471
経常利益	10,879	9,959
特別損失		
固定資産除却損	27	27
特別損失合計	27	27
税引前四半期純利益	10,851	9,931
法人税、住民税及び事業税	3,667	3,674
法人税等調整額	194	469
法人税等合計	3,472	3,205
四半期純利益	7,378	6,725

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
減価償却費	2,049百万円	2,514百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間（自 2017年1月1日 至 2017年9月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年2月14日 取締役会	普通株式	1,285	39.00	2016年12月31日	2017年2月22日	利益剰余金
2017年8月8日 取締役会	普通株式	1,285	19.50	2017年6月30日	2017年8月21日	利益剰余金

(注)当社は、2017年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。2017年2月14日取締役会の「1株当たり配当額(円)」につきましては、株式分割前の金額を記載しています。

- 2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期累計期間（自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年2月8日 取締役会	普通株式	1,285	19.50	2017年12月31日	2018年2月21日	利益剰余金
2018年8月3日 取締役会	普通株式	1,219	18.50	2018年6月30日	2018年8月20日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)3	四半期 損益計算書 計上額 (注)4
	ファクトリー ルート	eビジネス ルート	ホームセンター ルート	計				
売上高								
外部顧客への売上高	115,901	17,620	8,877	142,399	666	143,065	-	143,065
セグメント利益又は 損失()(注)2	8,860	1,830	24	10,715	13	10,702	177	10,879

(注)1 「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない海外販売等の事業セグメントを含んでいます。

2 「セグメント利益又は損失()」は、経常利益を表示しています。

3 「セグメント利益又は損失()」の調整額1億77百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

4 「セグメント利益又は損失()」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当第3四半期累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)3	四半期 損益計算書 計上額 (注)4
	ファクトリー ルート	eビジネス ルート	ホームセンター ルート	計				
売上高								
外部顧客への売上高	124,080	22,316	9,687	156,083	700	156,784	-	156,784
セグメント利益又は 損失()(注)2	7,941	2,062	146	9,857	57	9,799	159	9,959

(注)1 「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない海外販売等の事業セグメントを含んでいます。

2 「セグメント利益又は損失()」は、経常利益を表示しています。

3 「セグメント利益又は損失()」の調整額1億59百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

4 「セグメント利益又は損失()」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、セグメントの業績をより適切に評価するために、一部の費用の配分方法を変更しています。

なお、前第3四半期累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の「セグメント利益又は損失()」は、変更後の測定方法により作成しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりです。

項目	前第3四半期累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	111円89銭	101円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	7,378	6,725
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	7,378	6,725
普通株式の期中平均株式数(千株)	65,945	65,945

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。

2 【その他】

第56期(2018年1月1日から2018年12月31日まで)中間配当については、2018年8月3日開催の取締役会において、2018年6月30日の株主名簿に記録された株主様に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行っています。

配当金の総額 1,219百万円

1株当たりの金額 18円50銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2018年8月20日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年11月5日

トラスコ中山株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	三澤	幸之助	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	菊地	徹	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているトラスコ中山株式会社の2018年1月1日から2018年12月31日までの第56期事業年度の第3四半期会計期間(2018年7月1日から2018年9月30日まで)及び第3四半期累計期間(2018年1月1日から2018年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、トラスコ中山株式会社の2018年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。